

故 香川 綾先生を悼む

日本調理科学会顧問・香川栄養学園学園長香川綾先生には、去る平成9年4月2日朝ご逝去遊ばされました。先生は本会発足時より、顧問として本学会の発展に貢献して下さいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、会員の皆様と共に先生のご冥福をお祈り申し上げます。

先生は東京女子医専(現東京女子医科大学)をご卒業後、東京帝国大学医学部島菌内科においてビタミンと脚気の研究に従事なさいました。この研究は、国民の健康の為の栄養摂取とそれに必要な再現性ある調理の重要性を世に説き続けた先生の一生を方向づけるものであったと承っております。先生は1933年に現在の女子栄養大学の前身である家庭食養研究会を御夫君の香川昇三氏とともに設立なさいました。また1935年には雑誌「栄養と料理」を創刊なさり、現在まで発行が続けられております。先生は合理的な計量法の調理への導入、食品の四群点数法の提唱を始めとする数々の業績でもよく知られており、文化功労者、名誉都民でもあります。

このような輝かしさに満ち満ちた先生ですが、その一生は決して平坦なものではなかったとのこと。家庭食養研究会設立後わずか12年で、小さな4人のお子さまを残して御夫君が亡くなられたとの事。残った者が会を発展させようという御夫君との約束を守り抜いて、会を今日の学園まで発展させたとの事です。女性の社会進出が今以上に少なかった当時の困難さは計り知れないものがあったと思われます。しかし、そのようなことは先生からは少しも感じられず、ゆったりとした包容力に満ちておいででした。

このような立派な先生に顧問として、本会の発展にご貢献頂いたことを会員一同と共に心から感謝申し上げます。また、栄養学、調理学の重要性を身を持ってお示し下さった先生の教えを深く噛みしめ、今後の本会の発展に役立てたいと存じます。



〔ご略歴〕

明治32年3月28日生

大正7年3月 和歌山県師範学校卒業

東京女子医学専門学校(現・東京女子医科大学)卒業後、東京帝国大学医学部島菌内科学教室勤務

昭和8年3月 家庭食養研究会設立

10年5月 雑誌『栄養と料理』創刊

24年8月 医学博士の学位を授与される

25年4月 女子栄養短期大学設立

36年4月 女子栄養大学家政学部設立

37年11月 教育功労者として藍綬褒章受賞

40年4月 女子栄養大学栄養学部設立

44年4月 女子栄養大学大学院修士課程開設
栄養クリニック開設

47年4月 勲二等瑞宝章受賞

59年11月 エイボン女性大賞受賞

平成元年4月 大学院に博士課程を開設

2年11月 ダイヤモンドレディ賞受賞

3年11月 文化功労者顕彰される

5年10月 名誉都民として顕彰される

(平成9年4月2日逝去)

先生どうぞ安らかに眠り下さい。そして本会の発展を永くお守りくださいますようお願い申し上げます。

平成9年4月10日

日本調理科学会

会長 島田 淳子